

4~5面 **全国のYWCA紹介**

6面 **公益財団法人 日本YWCAスタートにあたり
2013年度加盟YWCA中央委員会のお知らせ**

7面 **国連女性の地位委員会 (CSW) 派遣報告**

The Young Women's
Christian Association

YWCA

日本YWCAの使命(ミッション)
イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する
世界の人々と共に人権・平和・環境の問題に取り組む

第31総会期主題
平和を実現する人々は幸いである—マタイによる福音書5章9節

4

APRIL
2013

No.713

www.ywca.or.jp

特集 special Issue

YWCAの ネットワーク

世界YWCAは、2,500万人の女性と少女が関わり、正義・平和・健康・人間の尊厳、そして環境保護のために125カ国以上で活動する国際NGOです。



World YWCA

1855年にイギリスで誕生したYWCAは、以来150年以上にわたり、世界中の女性が言語や文化の壁を超えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境がまもられる平和な世界の実現を目指して活動してきました。4月24日の世界YWCA日にちなみ、今号は各地で活躍するYWCAの女性たちを紹介します。



America

「YWCAは希望の場所です。」

YWCAで生活する女性たちは、さまざまなことを経験しています。それぞれにどんな理由があろうとも、私たちは皆この場所に安全とサポートを求めてやってきました。私たち全員が自分たちにとってより良いことをしたいのに、手だてがありませんでした。YWCAがそのギャップを埋めてくれました。

米国

タミー・ブライアントは、セントラル・バージニアYWCAのドメスティック・バイオレンス防止センター(DPVC)の利用者でした。YWCAの支援を受けて施設から自分のアパートに引っ越すことができ、二つの職を見つけました。その一つはDPVCのハウスキーパーで、自らの体験談をセンターにやってくる女性たちと共有しています。YWCAは世界各地で、女性に対する暴力に対してカウンセリングや法的援助、シェルターの提供、法的保護の拡充を求める政策提言などの活動をしています。



Chile

「YWCAは私のアイデアと創造性を十分に発揮する機会を与えてくれました。それは、女性や少女たちの生活に良い影響をもたらすためのスキルの向上に役立ちました。私たちのYWCAでは、リーダーシップをさまざまな角度からとらえるプロジェクトを開発し、少女たちを対象に、自己評価を強化し、自分の権利について学びHIVとAIDSについて情報を得ることが出来る活動を通じて、彼女たちのリーダーシップを養成する特別プロジェクト等を行っています。」

チリ

マージョリー・コーデロは、チリのバルパライソYWCAの会員です。世界YWCAの「変革への力」基金の協力を得て、他の女性たちと共にリーダーシップ・プロジェクトを先導しています。2011年、世界YWCAは31のプロジェクトを支援し、女性が自分の人生を決めていく助けになっています。

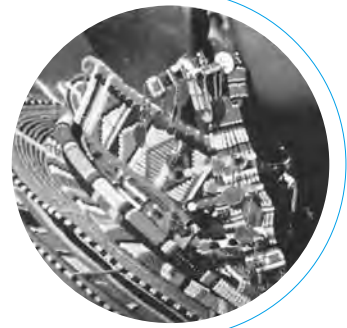


Haiti

「私たちはこれまで世界YWCAに加盟するため努力を続けてきました。今回晴れて加盟し、ネットワークに所属しているという一体感を感じています。世界YWCA総会には、私たちのYWCAから6人の女性たちが参加し、掘り下げた討論やプレゼンテーションに感銘を受けました。このような世界各地の女性たちとの触れ合いに参加することにより、**女性たちが直面する問題の核心**についての異なる観点を与えられました。それは素晴らしく、豊かな経験でした」。

ハイチ

タマラ・グエリン・バラウは、ハイチYWCAでコミュニティと生活の再建に取り組む女性たちの一人です。ユースセンターの設立により、思春期の少女たちへのリーダーシップ養成セッション、グループ・セラピー、性と生殖に関する健康と権利(SRRHR)やHIV、女性への暴力(VAW)に関する意識向上や知識を提供し、さらに年一回、「若い女性のリーダーシップ・セミナー」を開催しています。



Tanzania

「私は10歳の時に学校をやめさせられて祖父と同年代の男性と結婚し、5人の子どもを産み、暴力や女性器切除を受けました。家族に助けを求められず、**人生をあきらめようとしたその時に**、アルーシャYWCAを紹介されました。そこで、新事業を立ち上げるための資金提供を受け、ヤギや牛を購入することができました」。

タンザニア

メレソ・キルスは、マサイの女性で、現在はコミュニティのYWCAのリーダーとなり、女性への暴力や早婚・見合い婚などのサイバーの女性たちのためのグループをつくりました。グループはトウモロコシ畑の新事業を立ち上げ、同じようなトラウマを持つ女性たちを支援し、少女たちが学校に通い続けることを奨励しています。このようなプロジェクトは、性と生殖に関する健康と権利(SRRHR)に関する若い女性のリーダーシップを結集するためのYWCAの活動の一環として推進されています。

平和憲法をまもるために 私たちができること

手島 千景

昨年の衆議院選挙は自民党の圧勝で終わった。自民党への支持率が上がったわけではないのに、自民党が大きな顔で政権へ返り咲いたことに疑問と悔しい思いが残る。

多くの良識ある人たちが危惧するように、改憲への流れが勢いついたと認めざるを得ない。その流れを押しとどめるために私たちの急務とされているのは、7月の参議院選挙に向けての効果的な行動であろう。YWCAの中では憲法の大切さは十分理解されていることだろうから、外に向かつてその声を上げなければならない。

もし改憲されたら……。昨年4月に発表された自民党の「日本国憲法改正草案」によれば、天皇は日本国の元首となる。「公益及び公の秩序」が重んじられ、基本的人権個人の尊厳、宗教の自由、表現・結社の自由が脅かされる。さらに9条の改悪により武器使用の緩和、集団的自衛権の行使など、まさしく戦前体制への逆戻り、国家主義的・排他主義的・強権的政権となる。安倍総裁がテレビで盛んに「日本を取り戻す」と言っていたのは、正しくは「戦前の日本を取り戻す」ことなのだ、まだあまり認識していない人たちに向けてその恐ろしさを伝えなければならぬ。政治は自分とは関係ないと、前回投票しなかった人に対し、「あなたはどのような社会を望んでいるのか」、「あなたの望む社会をつくるために自分の選挙権を有効に使ってほしい」と伝えたい。「主権在民」、今こそこの言葉が大切であることを痛感する。一人ひとりが正しくその権利を施行するために正しい判断をしたい。

(東京YWCA会員・日本YWCA運営委員)



Scotland

「私は、スコットランドの海岸沿いの小さな町出身で、YWCAで素晴らしい旅を体験しています。現在27歳。世界YWCAの副会長として、今まで私が成し遂げてきたことや、これから起きることすべてについて、夢中で、刺激を受け、光榮に思っています。世界総会に3度出席し、1,500人もの人々の前で演説を行い、若い女性たちのリーダーシップ・トレーニングやプレ総会をリードするという自己目標も成し遂げました。スコットランドYWCAの会長も兼任しながら、今度は、世界中の女性のための世界組織を先導するチームの一員になりました。これからの『Yの旅』も心待ちにしています。なぜなら、YWCAでは先に何が待ち受けているのかは誰にもわからないからです」。

スコットランド カースティ・ケリーは、世界YWCAの副会長として活躍しているメンバーです。世界YWCAは、意思決定機関の25%以上を若い女性に与えるという公約をしており、今日では、世界YWCAの運営委員会の45%が若い女性で構成されています。



Palestine

「スリランカを訪れ、紛争後の人々の生活がいかに危険にさらされているかを目のあたりにしました。この訪問で、運動としてコミットメントを続け、女性たちの安全な場を確保するために倍の努力をしなければ、との強い想いでいっぱいになりました。この連帯訪問のメンバーたちは、各自同じような経験をしており、この訪問はとても価値がありました。正義ある平和や女性のための安全な場の確保に向け、一緒に活動できることはとても有益だと感じています」。

パレスチナ アーダ・アガザリアンは、パレスチナYWCAのアドボカシーおよびメディア・コーディネーターで、2007年から2011年まで世界YWCAの運営委員でした。アーダは「戦争や紛争が女性や少女に及ぼす影響」という2年間のプログラムのコーディネーターの一人です。これは世界YWCAとYーグローバルの援助を受けたプロジェクトで、紛争中の国々に暮らす女性たちの能力向上を促進し、国連安全保障理事会決議1325の履行に貢献することを目指すものです。



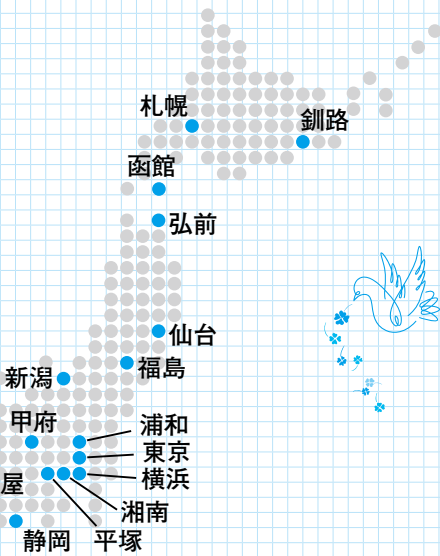
Solomon Islands

「世界YWCAオフィスでの1年間のインターンシップで、私は大変重要な役割を与えられました。今まで訪れたことがない場所に行ったり、大きな国際会議に参加したりする機会もありました。そのすべてが私の分析能力の向上に役立ち、執筆やレポート作成のスキル向上になり、私はエンパワースされ、自信を得ました。帰国後、ソロモン諸島YWCAの総幹事に任命されました。そこでも、若い女性のリーダーシップや能力へのYWCAの強い信頼が示されました」。

ソロモン諸島 ジェンタ・タウは若い女性インターンの一人で、ソロモン諸島YWCAの活動をさらに活性化させるため、世界レベルの活動で得られた自身の経験を持ち帰りました。寄付者の皆さまのおかげで、世界YWCAのインターンシップ・プログラムは2011年に20周年を迎え、これまでに合計88人の若い女性を支援しました。

ネットワーク 国内

各校YWCAが活動しています。地域の一環として活動している地域YWCAですが、今回は「ぴかっと光っているところ」を2012



7 | 浦和YWCA

「ひろしまを考える旅」に参加費援助をして4人の学生とつながりができました。参加した学生は「教師として子どもたちに戦争や原爆の実像を伝えていきたい」「卒業後、子どもたちの心のケアの場でこの体験を生かしたい」と語りました。小さくても広がりのあること、これからも続けたいと思います。

8 | 東京YWCA

誇れるのは、「地域に開かれた子育て支援・家族支援」。10年経った板橋の障がい児療育の「キッズガーデン」、今も待機児がおり評価が高いです。この4月から認可保育園「まきば保育園」が今までの幼稚園に代わり国領の地にオープンします。YWCAの活動にも新しい息吹を与え、次への展開が期待されます。

9 | 横浜YWCA

事業の3本柱である個別就労支援「花が楽しめる花花カフェ」・暴力を受けた女性への支援「ゆう」・シニアサロン「ティールーム」は、外部の専門家や団体とも連携してニーズに合ったよりよいサービスが提供できるよう努力を重ねています。今年は100周年。記念行事の準備に会員一同はりきっています。

10 | 湘南YWCA

いのちを粗末にするすべての事柄に敏感であること、それに立ち向かう平和への取り組みを勇気と行動力をもって実現していきたいです。おばあちゃまスタッフと遊ぶ3歳児の思いやりのあるしぐさ、優しい眼差し。キラッと光る子育て支援活動を継続しています。

11 | 平塚YWCA

平塚YWCAが大切な活動としているものを二つ紹介します。一つは、子育て支援「スペースJOY」、もう一つは、平塚で唯一の、スペシャルニーズを持つ小中学生のための「ゆくりあ学習塾」。どちらも熱い思いと行動力を持ったスタッフ（YWCA会員）が会館を活用して行っています。

12 | 甲府YWCA

広島市民の描いた原爆絵画を中心に、核のない平和な世界を願い、いのちの尊さを訴えて、30回の平和プログラムを続けてきました。これからもやります、続けます。今年8月の新しい展示会はただ今準備中です。「被爆と被曝」、「原発から自然エネルギーへ」と多くの人に、子どもたちに、伝えていきます。

1 | 釧路YWCA

釧路YWCAでルバーブジャム作りを始めたのは2004年。シベリア原産のルバーブは北海道の標茶に由来する宣教師により持ち込まれ、時を経て手から手へ釧路Yの2名の会員宅の庭へ。ここで育てられた釧路産のルバーブでジャムを作って販売し、活動資金としています。赤紫で甘酸っぱいルバーブジャムは大人気です！

2 | 札幌YWCA

政権が変わってすべてが保守・守旧へと戻ったと絶望するのではなく、「絶望の果てに光がある。それでも人生にイエスと言おう」(V.フランクル)と、ますます平和を目指したいものです。札幌YWCAでは「STOP!!憲法改正」第1回勉強会を4月6日(土)に開催。憲法が変わると生活はどう変わるのかを学びます。

3 | 函館YWCA

ピースプランニング委員会では年1度「平和について考える日」のオープンハウスを開催。昨年は「ワイワイワールド」で、各国の方の話を聞き現状を伺いました。大間原発反対運動とは長く関わり、第2・4日曜日には「バイバイ大間原発はこたえてワーク」に参加。「原発はゼロに！」と声高々に叫びましょう！

4 | 弘前YWCA

憲法9条を守るため、5月には「憲法と民主主義を守る5・3市民集会」に共催参加。2月には「思想信教の自由を守る2・11市民集会」に共催参加。毎月の例会では、『新憲法の誕生』(古関彰一著)を皆で輪読しています。

5 | 仙台YWCA

仙台にあるキリスト教主義の中学・高校・大学と交流しています。「ひろしまを考える旅」や「日韓ユース・カンファレンス」の参加報告・学校YWCA活動報告を伺い、また、仙台YWCAのサマースクール、バザー、震災ボランティアの夕食作りに参加してもらうなど、仙台YWCAの将来への輝きとなっています。

6 | 福島YWCA

創立時から40年以上続く知的障がい児童施設での奉仕、障がいを持つ人と持たない人が共に学ぶ書道教室、市民向けのワンコイン講座等、どのプログラムも会員一人ひとりが持つタレントを惜しみなく出し合い創る！ 個々の意見は尊重し、認め合う！ 皆がボランティア、よく喋り、よく笑い皆で大いに楽しむ！

13 | 新潟YWCA

新潟YWCAは創立以来60年、聖書研究会・社会問題勉強会・楽しい集いをそれぞれ月1度のペースで続けてきました。メンバーみんながどの会にも参加し、運営を担う中で育てられ、変えられて、命を尊び、平和に取り組む者へと導かれてきました。他団体との平和集会などに参加しています。

14 | 静岡YWCA

3年前の静岡YWCA30周年に、9条タペストリーを作りました。条文の下にはまあいい地球に、それぞれが工夫して作ったいろいろな民族の子どもたちや生き物たちがいます。毎年行っているピースフェスティバルや、先日静岡で開かれた国連軍縮会議に展示し、子どもや外国の方にも超人気です。

15 | 名古屋YWCA

建国記念日に「天皇制問題を考える2.11集会」を39回続け、この問題に多方面から取り組んでいます。今年は「沖縄戦『玉砕場』からの証言が描く天皇の戦争責任」で、映画「ぬちがふう(命果報)」ダイジェストの上映と朴壽南監督の講演をしました。今後さらに天皇制問題を掘り下げていきたいと思っています。

25 | 沖縄YWCA

取り組むべきことが迫ってくる。沖縄の現実。政権が逆戻りして、軍事要塞化が加速する勢い・動きに抗する活動を、キリスト教団体・市民運動の仲間と共に取り組んでいます。憲法改悪に対する想像力喚起を若者が同世代に伝える活動に力を入れ、パレスチナ・福島・沖縄を繋げ、米国Yとの「出会い」に歩を進めたいです。

学校YWCA

日本全国の35の中学校・高等学校にYWCAがあります。それぞれの学校で特色のある活動を行い、毎年夏休みには地域毎に集まってカンファレンスを開催しています。

とわの森三愛高等学校
北星学園女子中学校・高等学校
遺愛女子中学校・高等学校
弘前学院聖愛中学校・高等学校
聖光学院高等学校
宮城学院中学校・高等学校
尚綱学院中学校・高等学校
山形学院高等学校
女子聖学院中学校・高等学校
東洋英和女学院中学部・高等部
明治学院高等学校
女子学院中学校・高等学校
捜真女学校中学部・高等学部
フェリス女学院中学校・高等学校
横浜共立学園中学校・高等学校
横浜英和女学院中学校・高等学校
アレセイア湘南中学校・高等学校
山梨英和中学校・高等学校
静岡英和女学院中学校・高等学校

清水国際高等学校
北陸学院中学校・高等学校
金城学院中学校・高等学校
同志社女子中学校・高等学校
同志社国際中学校・高等学校
大阪女学院中学校・高等学校
梅花中学校・高等学校
プール学院中学校・高等学校
啓明学院中学校・高等学校
日ノ本学園中学校・高等学校
広島女学院中学校・高等学校
松山東雲中学校・高等学校
福岡女学院中学校・高等学校
折尾愛真高等学校
活水中学校・高等学校
ルーテル学院中学・高等学校

19 | 広島YWCA

ヒロシマを継承するための碑めぐりサークル「カナナの会」を紹介します。1998年に発足、今年で16年目を迎えます。「ヒロシマの今から過去を見て回る会」という名称から、被爆後の広島の地にいち早く咲いた花はカナナの花だったことから2012年に改名。広島YWCAの看板サークルです！

20 | 呉YWCA

グループ「WE LOVE 9条」に加え、地域の人たちと一緒に「原発いらない、でも大丈夫、呉の会」を結成し、読書会やDVDを通して放射能の怖さを学び、原発廃止のハガキキャンペーンを実施。地域貢献活動として「エンディング講座」を連続開催し、老いに向けての生き方・備えを学び合っています。

21 | 松山YWCA

3月に詩の朗読グループによる構成詩「平和の砦」を聞いた後、「平和憲法について語り合う会」を開催。「今井万里牧師遺稿集『泉へのみち』」で「聖書研究会と憲法研究会はYWCA活動の両輪」という言葉を見出し、この理念が脈々と引き継がれての今日なのだ実感とは、入会3年目の会員の感想です。

22 | 福岡YWCA

福岡YWCAでは、10年前より月1回サイレントアピールを行っています。現在は数名の参加ですが、思いを強く持ち、パンナーを手にアピールを続けています。また、憲法改正に賛成する若い世代が多いとの危機感から、参院選前の6月に全館を会場にしての平和集会（改憲反対キャンペーン）を計画中です。

23 | 長崎YWCA

被爆地長崎の地に「平和の種」として蒔かれた長崎YWCAは主に支えられて50年歩む。真夏の8月に「長崎母子像の集い」で反戦・反核・非暴力を訴え続けて25年。50周年記念に「大震災チャリティコンサート」を開催。今、憲法改悪許さぬと戦争を知らない次世代へ語り継ぐ記念誌『平和の証し』を発行します。

24 | 熊本YWCA

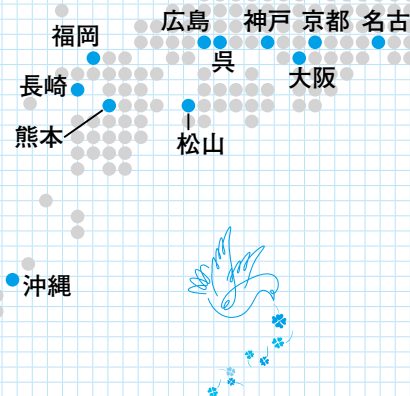
熊本YWCAは今年創立50周年を迎えます。在熊留学生のための毎月の生活支援バザーや、その家族たちも含めての多様な異文化交流を通して友情を培い、世界の動きへの理解を深め、あるべき日本の姿を求めて、草の根の他団体とのネットワークを活かしながら平和活動に取り組んでいます。

YWCAの
日本

日本では25の地域YWCAと35の学生ニーズを生かした多彩な活動を実施。「平和の取組み」や「我がYWCAの」年度会長が紹介します。

16 | 京都YWCA

平和委員会では、憲法9条を守るうと「9の日行動」や時事問題を自分の言葉で語り合う「カフェフリーデン」。グループ「ほーぼのぼの会」では、学校のもめごと解決のためのSAVONA教育の普及。「フィールドトリップ」（水俣等の現場体験）など、ピースメーカーを組織内外で増そうと活動しています。



17 | 大阪YWCA

DV被害を受けた女性が自立に向けて自分を戻すための中長期支援施設「ステップハウス」を2005年に開設。厳しい財政状況の中、多くの方々の支援のもと運営しています。憲法の理念を活かし、すべての女性が自分自身の生き方を決定し、力を発揮することができる社会を目指して活動を続けます。

18 | 神戸YWCA

18年前に阪神淡路大震災を経験した神戸YWCAでは、東日本大震災後、被災地と共に歩みたいと願い活動を続けています。昨夏には福島Yの協力を得て、ソウルYと合同で日韓ユース・ピースキャンプを、福島の高校生を含め韓国で行いました。未解決の多い被災地の課題を共に祈り寄り添って歩みたいと願います。

公益財団法人としての スタートにあたり

日本YWCAは、4月1日より公益財団法人として歩み出します。

2006年5月公益法人制度改革関連法が成立し、それまでの民法34条を根拠として主務官庁の裁量にまかされていた財団法人・社団法人が新制度に変わることになりました。この改革に沿って各地域YWCA及び日本YWCAは、新制度を学びつつYWCAのあり方を問いながら7年間にわたって検討してきました。

地域YWCAはそれぞれ公益財

団法人・一般財団法人または社団法人を取得し、続いて日本YWCAも

2012年8月に公益財団法人への移行申請をして認定され、この度4月から公益財団法人へ移行することになりました。

公益財団法人となることによって何がかわるのでしょうか。

新法人の公益目的事業を「人材育成」に絞りました。若い女性のリーダーシップの養成、青少年の育成、平和・

人権・環境等のアドボカシー（政策提言等）、地域で活動するボランティアの養成がその内容です。これらは各地域YWCAの組織運営のマネージメント等、相談調整しながら働き進めていくことになるでしょう。

メンバーシップを大切にしながら、「会員のため」という活動より、会員が活動の担い手になり、社会を変革する働きを行うようにしたいものです。地域社会への貢献活動をアピールすることで公益財団法人としてのメリットでもある幅広い人々から支援を得られるのではないのでしょうか。この機会を生かしてYWCAを飛躍させることができればと思います。

第30総会期法制度部会 長

中村紀子

2013年度加盟YWCA 中央委員会のお知らせ

5月25日(土)～26日(日)、2013年度加盟YWCA中央委員会が開かれます。加盟YWCA中央委員会は、総会での決議事項の実行のために各地域YWCAの代表たちが集い、具体的な1年間の活動展開に向けて決議する場です。今回は新たな総会期初めての中央委員会であり、今年度だけではなく、今後4年間でどうやって進めていくかのイメージの共有も必要となるのではないかと思います。今年度の大きな目標は、公益財団法人として、また新総会期第1年目として新しい一歩を踏み出す組織体制について皆で共有し、その上で4年間の総会期で何をどのように達成していくのか、そのために今年度は何を重点的に取り組むのかなどを皆さんで協議することです。特に今回は、火急の問題である憲

法について重点的に協議する時間をとっていただきます。私たちが協働して何をすべきか、日本YWCAの方針を決議できたらと思います。出席者は限られています。協議には出来るだけ多くの会員の声を届けて欲しいと思います。事前に各地域YWCAでご協議の上、出席者に託していただければ幸いです。

また、毎年恒例となってきましたが、加盟YWCA中央委員会に先立ち、会長会を持ちます。新しく会長となられた方もベテランの方も、規模の大きさが違えども、十地域十色、それぞれの大変さや楽しさを抱えつつ、全国運動を共にする仲間としてゆっくり話せる時間となれば幸いです。

2013年度加盟YWCA中央委員会

準備委員長 吉村千恵

(種)

主の耳が鈍くて
きこえないのでもない。

(イザヤ59章1節)

ドイツ南シュバルツバルト、聖ラジエン大聖堂「夏季国際オルガン祭」で昨年夏演奏した。その日は日本の終戦記念日。ハイデッカーも住んでいた保守的な森。ユダヤ系牧師を父に持つH・カミンスキーの故郷でもある。彼はベルリン音大作曲科教授の時、ヒットラーによって追放された。彼のオルガン曲「コラールソナタ」は1937年に演奏を禁止された。誰も演奏しなかった大曲、著名な演奏者たちは避けてきたのかも知れない。ここにこそ相応しい！私の中で駆り立てる力が働いていた。しかし、不安であった。聴衆はどのように受け止めるだろうか。ここは南ドイツなのだ。

「グローリア、賛美と誉れと栄光神に在れ」の終楽章が終わった。沈黙を破り、数百人を超える聴衆が総立ちで拍手。地元紙のバーデン州新聞は「長く鳴り止まなかった拍手は、平和を願う演奏者のメッセージが聴衆に届いたことの証であった」と書いてくれた。

翌日、カミンスキーとボンヘッファーをつなぐベルリンへと飛んだ。変貌を遂げる都市にきらびやかさはない。再建の槌音と街の匂いから世界平和に貢献しようとする息吹を感じた。「日本は大きな過ちを犯している」そう聞こえてきた。

横手多佳子

甲府YWCA賛助員・

山梨英和学院オルガニスト

第57回国連女性の地位委員会(CSW)参加報告

女性への暴力の廃絶と防止

世界の女性を取り巻く状況を改善し、地位の向上につなげていこうという国連女性の地位委員会(CSW: The Commission of the Status of Women)が、3月4日(月)~15日(金)までニューヨークの国連本部で開催されました。世界YWCAは、毎年CSWへ代表団を送り、政府間会議やNGO会議でリーダーシップを発揮しています。今回日本YWCAからは4名を派遣。世界YWCA代表団として参加した佐藤恵津子さんと仲里和花さんから報告が届きました。



国際女性デーの行進出発前、世界YWCAのメンバーたちと。雪が降り寒い日でした。

UN Womenは、女性の地位委員会の仕事を実質的に支えるだけでなく、市民社会の代表に参加を呼びかけ、CSW会期中のNGO主催イベント開催の調整を引き受けています。NGOとして、市民社会の声を国連に届ける資格を持つ世界YWCAは、今回、世界各地YWCAから90人の代表を派遣、そのうち、日本YWCAからは4人の代表(沖縄YWCA仲里和花、熊本YWCA石原明子、京都YWCA張善花、大阪YWCA佐藤恵津子)が参加しています。

ニューヨークの国連本部の周りには、「正義と平和」を求める多くの女性の声で満ちています。「女性と少女に対するあらゆる形態の暴力の廃絶と防止をテーマに掲げて、第57回CSWの会合が開催されています。会期の途中ですが、ニューヨークから、会合の様子を報告します。

CSWは、1946年に国連経済社会理事会の機能委員会のひとつとして設置され、社会のあらゆる分野における女性の権利を促進する機能の責任を担っています。事務局の

CSWでは、国連内で行われる各国政府代表による会議のほかに、各国政府や国連機関主催のサイドイベントと各NGO主催の平行イベントが開催されます。今回は、100のサイドイベントと350の平行イベントが計画され、世界各地800のNGOから6,000人の代表が参加しています。イベントと並行して、各NGO・各地域別の声明文が作成され、CSWに提出されます。

CSW参加のために、3月1日には、

世界YWCAの研修、2日には、キリスト教各派合同のエキシブニカルウーマンの研修を受けました。いずれも、研修参加者と交流を図りながら、CSWの価値を知る有意義な時間となりました。3日は、NGOの代表が一同に集まるNGO CSWコンサレーション・デーで「女性と少女への暴力廃絶」に向けて、さまざまな切り口での取り組みが紹介されました。

3月4日からのいよいよ各イベントが始まりました。この日、慰安婦問題を切り口に、戦時下および軍隊の駐留における性暴力の問題を追及するパラレルイベントで、仲里さんが沖縄の問題を発表する機会を得て、沖縄に駐留する米軍兵士による性暴力の実態を会場に伝えました。発表の原稿は、世界YWCAのウェブサイトに掲載されています。沖縄の問題を広く世界に知ってもらう機会となりました。

会期中の3月8日は、幸運にも国際女性デーにあたり、行進が計画されました。世界YWCAのメンバーとともに、雪が降りしきる中、女性への暴力廃絶を訴えて国連本部の近くを行進しました。

今回のテーマ「女性と少女に対するあらゆる形態の暴力の廃絶と防止」の具体的な行動として、世界YWCAでは「18歳以下の子どもの強制的結婚の廃止を求める署名」活動をしており、3月8日現在、約3,000人の署名が集まっています。

不正義に対して、市民が団結し平和を求める声をあげることが重要だと、強く心に留めて日本に帰りたいと思います。

大阪YWCA 佐藤恵津子

(2013年3月11日記)

軍隊と女性

CSW4日目、新日本婦人の会主催のパラレルイベントに参加しました。「武力紛争下または軍隊駐留地域でおこる性的暴力を終わらせる」というテーマのもと、元国連大使のアンワル・K. チョウドリさん、女性国際戦犯法廷元共同代表のインダイ・サホールさん、平野恵美子新日本婦人の会国際部長がパネルディスカッションを行いました。過激な国粋主義グループや右翼政権が台頭する現在の日本において、従軍慰安婦など軍隊によって性暴力を受けたサバイバーたちに正義をもたらすために、NGOや国際社会の一員が、いかに難関を乗り越えて共闘していくことができるかについて話し合われました。

この会議で、私は、沖縄に駐留する米軍兵による性暴力の問題に関して5分間、発表する機会を与えられました。米軍兵による性暴力の事例(1972年以来130件数発生)、軍隊教育で女性蔑視や植民地意識を植え付けられた米兵が基地外で自由に行動する危険性、不平等な地位協定の問題などを報告しました。そして、国連安保理決議1325を軍隊が長期駐留している沖縄にも適応して、米兵による暴力を公正に罰することのできる環境づくりの必要性を訴えました。会場からは多くのコメントをいただきました。「米軍は犯罪を犯しても謝罪しないのか?」との質問もありました。

沖縄の米軍による女性への性暴力の問題は、思った以上に他国のNGOからの反響が大きく、今後いろいろな機会を通して訴えていく必要性を感じました。国際社会からの共感を得て、米軍基地撤退につながる道を着実につくっていくことの大切さを実感しました。

沖縄YWCA 仲里和花



@世界YWCA

エンパワーするNGO



学校YWCAとの交流会 感動と元気を与えられ

仙台YWCA

昨年度復活した学校YWCAとの交流会が2月2日(土)に行われ、今回の参加者は宮城学院高校生5名、同大学生3名、仙台YWCAから7名の計15名でした。

初めに礼拝を守り、YWCAの使命を確認した後、昼食をとりながら歓談しました。その後自己紹介を兼ねて、日ごろのYWCAの活動を通して思うことを語り合いました。質問もたくさん出され、一巡したところで閉会の時間となってしまいました。

大学生は、聖書研究や研修旅行、さらに聖歌隊やその他のボランティア活動を通して心が養われ、視野も広がり、学生生活が充実しているということでした。高校生は、園児や児童や高齢者と交流するボランティア活動を毎週続けていて、それらの活動は進路(小学校教諭・看護師等)に役立つので楽しいと語る生徒たちの目は輝いていました。私たちも仙台YWCAの活動(聖書研究、講座、講演会、読書会、被災者・障がい者支援やバザーのボランティア活動等)から得た、日常性を超えた貴重な経験を語りました。

若い皆さんから感動と元気を与えられ、今後の両者協働の可能性も見てきた交流会でした。

仙台YWCA 伊藤香美子

ちょっと待って!

憲法改正

憲法改正に意欲を見せる安倍新総裁の再登場に危機感を覚えた静岡YWCAでは、多くの人にこの現状を考えてもらいたいと、2月9日(土)に公開のワークショップを開催しました。

静岡YWCA自慢の9条タペ

ストリーを展示した会場で、まず大きなサイコロを使ってすぐろくのコマを進めながら、現行憲法の精神と素晴らしさを、制定当時の中学1年生の教科書である『あたらしい憲法のはなし』などに学びました。そして、大切な憲法の条項で埋めて作った

ビンゴで遊びながら、自民党が発表した憲法改正草案を現行憲法と比較して読みました。用意した景品を楽しみながら憲法改正草案に触れ、事の重大さに驚きつつ理解していくことができました。

最後はグループに分かれてお茶を飲みながら、安倍首相への手紙を書きました。「官邸に届けた後は、官邸前アクションに参加したいね」なんて話しながら。当日ファシリテーターを務めた私が「出張します」と思わず言ってしまったところ、複数の

オファーがあり、春休み中にママたちの会でワークショップを実施することになりました。

参加者の感想を掲載した静岡YWCAニュースレター2013年3月号も併せてご覧ください。

静岡YWCA 藤原玲子



ご協力ありがとうございます

賛助費

牛島栄子 設楽順子 岡野フミ子

関口静子 山中光子 尾崎裕美子

吉川長太 小林貴久美

多文化共生サポーター

(国際協力基金)

静岡YWCA 熊本YWCA

(パキスタン被災者支援基金)

根岸朋子

(パレスチナYWCA支援基金)

佐藤田紀子

(オリープの木キャンペーン基金)

添野ふみ子 沖縄YWCA

大阪YWCA 大宮保育園

函館YWCA 松山YWCA

クリスマス献金

木村浩子 横浜英和学院

活水中学校・高等学校

関東学院中学校・高等学校

玉川聖学院 女子学院宗教部

との森二愛高等学校生徒教職員同

普連士学園中学校・高等学校宗教委員会

福岡女子学院中学校・高等学校宗教部

日本基督教団下谷教会

日本キリスト教団西千葉教会

日本基督教団代々木上原教会

福島YWCA 平塚YWCA

甲府YWCA 熊本YWCA

福岡YWCA 弘前YWCA

(2013年2月20日現在(敬称略))

*被災者支援基金に関しては、6月号に掲載させていただきます。

▼日本YWCAは、2013年2月15日付で「朝鮮民主主義人民共和国の核実験実施に対する抗議声明」を朝鮮民主主義人民共和国 金正恩国防第一委員長宛て提出しました。

発行所 公益財団法人日本YWCA

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-8

Tel. 03・3264・0661

office-japan@ywca.or.jp

【駿河台オフィス】

〒101-0062 千代田区神田駿河台1-8-11

東京YWCA会館302号室

Tel. 03・3292・6121/FAX 03・3292・6122

編集発行人 石井摩耶子

振替 00170-7-23723 (毎月1日発行)

定価1部 50円

年間購読料 660円(送料込)